

## スポーツ教養プログラム【ジュニア】活動報告

- 1 日時  
2023年2月4日（土） 18時25分から20時30分まで
- 2 会場  
栄ガスビル
- 3 プログラム名  
言語教育プログラム
- 4 講師（敬称略）  
株式会社インターファーストトップアスリートアカデミー 高柳 公一
- 5 活動内容

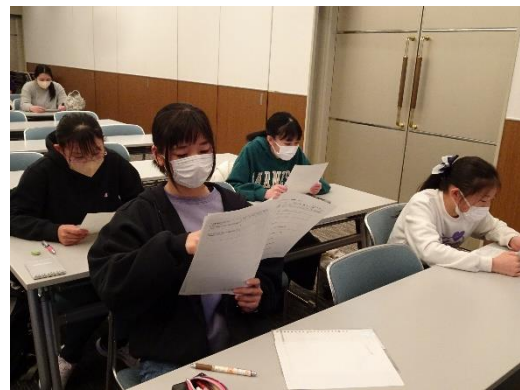
講義は、言語教育の基礎となる「読む」「書く」活動として、オリンピックについて書かれた文章の「音読」と「視写」から始まりました。ほとんどのアカデミー生が1回目、2回目と練習を重ねる中で読んだり書いたりする文字数を伸ばすことができました。「音読」の速さは、動体視力に関係があり、目で文字を早く追うことができれば、早く読むことができるようになると講師の先生が仰っていました。

続いて「話す」活動として、二人組になりインタビューの受け答えの練習を行いました。相手に伝わるように答えることを意識して、「自分が行っている競技を始めたきっかけや魅力についての発表」に挑戦しました。「自分の意見を発信することが大切であり、感情を言語化することで、自分の気持ちも整理できる。また、自分の意見を発信しないと相手のことを理解することは難しい。」という講師の先生からのアドバイスを受けると、だんだんと自分の意見を丁寧に相手に話す様子が見られるようになりました。

今回教えていただいたことを、これからの学校生活やスポーツ活動でも継続し、自分の思いを発信していけるようになってほしいと思います。



講義の様子



音読の様子



視写の様子



受け答えの練習の様子

## スポーツ教養プログラム【ジュニア・ユース】活動報告

- 1 日時  
2023年1月14日（土） 18時25分から20時30分まで
- 2 会場  
ウインクあいち（愛知県産業労働センター）会議室 901
- 3 プログラム名  
言語教育プログラム
- 4 講師（敬称略）  
株式会社インターファーストトップアスリートアカデミー 高柳 公一

### 5 活動内容

講義は、言語教育の基礎となる「読む」「書く」活動として、オリンピックについて書かれた文章の「音読」と「視写」から始まりました。ほとんどのアカデミー生が1回目、2回目と練習を重ねる中で読んだり書いたりする文字数を伸ばすことができ、予想より速いスピードで変化する様子に講師の先生も驚いていました。

続いて「話す」活動として、二人組になり「自分が行っている競技を始めたきっかけと魅力についての発表」に挑戦しました。「上手に話そうと思うと逆に話せなくなるので、自分の思いをそのまま言葉にすれば良い。」という講師の先生の言葉どおり、だんだんと緊張もほぐれ、自分の思いを感じているまま隣の席の人に話す様子が見られました。

今回学んだ言葉を上手に用いる技術を、日常生活やスポーツ活動時に活かしてもらいたいと思います。



講義の様子



音読の様子



受け答えの練習の様子



講義の感想を話すアカデミー生